

令和4年度 広野小学校 スタートカリキュラム全体構造図

八広地区では、広野保育所、広野小学校、八千代中学校に関わる教育関係者や保護者、生涯学習に携わる地域の方々が「子どもの教育の接続」を重要視し、各年代におけるきめ細かな教育の必要性とそれを系統的かつ関連性のある指導を継続的に行うことを狙いとした八広こども教育のカリキュラムを作成した。特に、各年代の接続を大切に、八広地域の子どもを社会で通用する人材へと育てるために「人とかかわる力」「元気に生活する力」「考えてチャレンジする力」の3つの観点で育成することとした。

【八千代・広野小中学校 一貫教育目標】

ふるさとの人や自然にふれて、自ら学び、夢を育む児童・生徒の育成～緑かがやき 笑顔あふれる 八広地域～

【広野小学校の学校教育目標】

ふるさとを愛し、夢を拓く広野の子

○学びを生かす子 ○未知に挑む子 ○共に創る子

【重点】自己有用感を高め、

夢をかなえる力を育む学校づくり

【めざす子どもの姿】

- ・ **ひろ**い心で仲間を認め、**やさ**しく思いやりのある子ども
- ・ **ろ**くねんかんの学びを、**ち**ゅうがっこうにつなげ、9年間学び考える子ども
- ・ **の**びのびと地域で育ち、**よ**りよい社会を作る担い手となる子ども

【八千代中学校の学校教育目標】

主体的な学び 深いつながり 切り拓く力

○(知) ○(徳) ○(体)

【重点】自ら考え、判断し、行動できる生徒

保育所、幼稚園

低学年
(1, 2年生)

中学年
(3, 4年生)

高学年
(5, 6年生)

中学校

広野保育所

八千代中学校

【人とかかわる力】

- 1 元気のよい挨拶
- 2 集団生活の習慣化
- 3 相手の気持ち
- 4 自己肯定感、自己有用感

- ① 元気に挨拶や返事をする事ができる。
- ② 友達と仲良く遊んだり、上級生と一緒に活動することができる。
- ③ 困ったときは人の力をかりて乗り越えたり、相手の気持ちを考えて行動したりすることができる。
- ④ 伝え合いや振り返りを行い、自分に自信を持つことができる。

- ① 進んで元気に挨拶をしたり、返事をする事ができる。
- ② 仲間はずれなく友達と仲良く遊んだり、他学年と仲良く交流したりすることができる。
- ③ 自分から助けを求めたり、相手の力になろうとしたりすることができる。
- ④ 学級の役割を果たし、友だちに認められることで自信をもつと共に、人に役に立つことの大切さを知る。

- ① 時間帯や場所を考慮し、自ら進んで挨拶や返事をする事ができる。
- ② いじめのない仲間作りができ、同級生・下級生を思いやりながら活動することができる。
- ③ 相手の立場を考えながら、自分の考えを伝えたり、支援したりすることができる。
- ④ 学級の一員として主体的に活動し達成感を味わい、自己肯定感や自己有用感を高めることができる。

【元気に生活する力】

- 1 自己管理
- 2 健康・安全への配慮
- 3 社会のルール・規範意識
- 4 家庭生活への接続

- ① 自分の持ち物や配布物の整理、食事、身支度を一人ですることができる。
- ② 通学路を守り、交通安全に気をつけて登下校することができる。
- ③ 学校の約束やルールは必ず守るという意識を持つことができる。
- ④ 家庭と連携して、規則正しい生活習慣の定着を図る。

- ① 身の回りの整理を自分で行い、次の活動の準備が時間内にできる。
- ② 交通安全に気をつけて、登下校するとともに、安全に留意して遊ぶことができる。
- ③ 学校の約束やルールを守り、落ち着いた生活を送ることができる。
- ④ 家庭と連携して、自ら規則正しく生活しようとする事ができる。

- ① 日頃から身の回りの整理を行い、活動する時間や場所を考え、工夫して準備することができる。
- ② 交通安全に留意し、常に危機管理を心がけ、登下校や遊ぶことができる。
- ③ 公共のマナーを守り、主体的に人の役に立つ心を持つことができる。
- ④ 規則正しい生活の必要性を理解し、自ら生活のリズムを整えることができる。

【考えてチャレンジする力】

- 1 話を聴く姿勢
- 2 ことばへの興味・関心
- 3 学習用具
- 4 自学・自習へのステップ

- ① 「もしり」を意識して全身で話を聴き、内容を理解し考えようとする。
- ② 読み聞かせや読書・音読を通して、言葉や物語を想像し考えることができる。
- ③ 教科書やノートなどの学習用具の名前を覚え準備できるようにする。
- ④ 授業で学習した内容を復習する習慣をつける。(広野っこタイムや家庭学習、ICT機器で)

- ① 「もしり」の姿勢で話を聴き、内容を理解し、自分の考えと比べることができる。
- ② 読書・音読・調べ学習を通して言葉への興味関心を持ち、自ら進んで課題を見つけることができる。
- ③ 教科書やノート、PCなどを事前に準備し、学習に対する意欲を高めることができる。
- ④ 授業で学習した内容を毎日、復習し、自学として継続的に取り組めるようにする。

- ① 「もしり」を定着させ、集中して話の内容を聴き、自分で考え、意見を持つことができる。
- ② 読書・音読・調べ学習を通して自己の考えを広げたり、深めたりして言語感覚を高めると共に学習課題を自ら発見し、学ぶことができる。
- ③ 学習内容を理解し、事前に学習用具を準備するとともに、自ら進んで予習等を行うことができる。
- ④ 毎日の復習を定着させ、自ら進んで家庭学習を行う。